



# 第9回新潟地区国立病院薬剤部科合同勉強会

西新潟中央病院

蓮田 赳大



## はじめに

令和6年10月26日（土）、第9回新潟地区国立病院薬剤部科合同勉強会を開催致しました。今回も前年度と同様に現地開催とオンライン開催を併用したハイブリット形式で西新潟中央病院が幹事施設となり開催致しました。

参加者は西新潟中央病院、新潟病院、さいがた医療センターの薬剤師、過去に新潟県内3施設に在籍した薬剤師だけではなく薬事専門職の軍司剛宏先生、薬剤等管理監の秋元朝行先生をはじめとする多くの先生方にご参加いただき、総勢35名（うち現地参加18名）の参加で開催されました。

## 勉強会の様子

当日は快晴とまではいきませんでした。雨や雪も降ることはなく定刻通りに開催することができました。まず勉強会の開催に先立ち、さいがた医療センター薬剤科長山田昌彦先生より開会の辞、西新潟中央病院薬剤部長平岡潤也先生から幹事施設長挨拶を行いました。

今回の勉強会は西新潟中央病院 病院長（新潟睡眠障害を考える会理事長、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 理事・代議員※）の大平徹郎先生による講演、株式会社TOSHOより閉鎖式薬剤移注システムについて紹介と体験の二部構成

で行いました。

第一部では、大平病院長より『誰にとっても身近な迷宮「睡眠」』の講演が行われました。本講演では、西新潟中央病院の施設紹介から始まり、睡眠の役割とメカニズム、睡眠時間と睡眠の質、睡眠時無呼吸症候群等についてお話していただき

ました。患者さんから睡眠について質問をいただく機会が多いため、非常に興味を持ちながら聞くことが出来ました。

※第35回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会：会長 大平徹郎

(2025年10月24日～10月25日：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター)

休憩を挟んだ第二部では、「閉鎖式薬剤移注システムEQUASHIELD」について紹介いただき、その後、実際に体験しました。新潟地区の3施設は抗がん剤調製時に閉鎖式薬剤移注システムを使用していないため、今回の勉強会で初めて経験した先生もいました。そのため、関心を持ちながら体験することが出来ました。

研修課題終了後は薬剤等管理監の秋元朝行先生から感想をいただき、その後の全体会議では、次回開催について検討が行われ、さいがた医療センターが幹事施設となりました。その後、新潟病院薬剤部長岡本一人先生からの閉会の辞をいただいて盛会のうちに終了となりました。

## 考察

今回もハイブリット形式で開催しましたので、多くの県外の先生方にオンライン形式で参加いただけたと思います。今回の研修課題は講演と実技の二題でしたが、オンラインで参加された先生方は実技課題ができず大変申し訳ございませんでした。新潟地区での開催となりますが、是非とも現地に来て勉強会に参加いただければ大変うれしく思います。また、日程等の都合がつかずご参加できない先生も多数おられました。来年度の勉強会では早めに準備を始め、より多くの先生方が参加できるように計画を立案してまいります。



## 最後に

本勉強会は2014年に第1回目が開催され、今回で第9回目を数えるまでになりました。新潟県内3施設の先生方のみならず関信地区国立病院薬剤師会の先生方にも支えられ、今回も無事に開催することができました。ご講演いただいた大平徹郎先生、実技指導いただいた株式会社TOSHO様をはじめとするご協力いただいた企業のみなさま、ご感想をいただきました薬剤等管理監の秋元朝行先生、本勉強会実行委員の花垣諒太先生、小金澤佑太先生、森下浩一郎先生、市川竜太郎先生、中村舞奈先生、開催に際しご協力いただいた全ての先生方に、この場をお借りして深く感謝とお礼を申し上げます。